

宗像市市民参画等推進審議会

第4回第2次宗像市市民活動推進プラン策定専門部会

(会議内容要点筆記)

日 時	令和元年10月4日(金) 13:30~15:30
場 所	宗像市役所201会議室
委 員	■佐藤靖成 ■種田明美 ■福岡佐知子 ■東博子 ■山田明 (五十音順、敬称略)
事務局	コミュニティ協働推進課(中野、中脇、神)

1. 事務局あいさつ

当プランに関して、これまでご意見いただいたなかで5月に答申いただき、本日骨格をお示しできた。ご意見、お知恵を拝借しながら、市民にとって手にとってもらいやすい身近なプランにしたい。

2. 会長あいさつ

本日は、具体的に内容を審議したい。率直なご意見をいただきたい。

3. プラン(案)の確認について

はじめに・第1章

(意見) 漢字が多いので、ルビを打ってはどうか。

(意見) 字の大きさは、これくらい大きい方が読みやすい。

(事務局) 書体は、ゴシックや明朝体など使い分けて読みやすくしたい。

(意見) ページ数は、読みやすいように極力減らしてほしい。

第2章

(意見) 10ページの「協働の基本原則」は、今は2つだが、市民参画条例には5つ示してある。

(意見) 基本原則の「自主性」について、協働で一緒にすることで緩むことがあるので、自主性は大事である。前回プランの基本原則の「6. 正当な対価の原則」のコストの表現は、違和感があり、誤解される可能性がある。

(意見) 当市でも、また、他の自治体にも、そのような表現は他にないだろう。

(意見) 「正当な対価」とは何か、議論になるかもしれない。

(意見) それでは、「正当な対価」については、今回削除する方向にするか。

(事務局) 「対等な立場」だと、協働が団体と線引きせずにできる。

(意見) それでは、今回は、原案どおり2つとする。

(事務局) 10 ページの協働の主体に「議会」が入っていることについては、原案どおりでいいか。

(意見) 自治基本条例には主体として記載があるが、協働の主体としてはどうであるか。

(事務局) 最近では、議会が、高校生を議場に招き地方自治に関心を持っていただくためのイベントを実施したりして、協働の主体として動いているのではないか。

(意見) 市民参画条例を制定するときに、市民政策提案ができることやコミュニティについて入れることに対して、議会から反対があったが、しっかり説明して可決された。

(事務局) 「行政」に市長部局が入っているので、議会が入ってもいいのではないか。

(質疑) 11 ページの、協働の領域の「民民協働」とは何か。

(事務局) 最近では、民間同士の協働もあることを意識していただくために、「民民協働」という言葉を使っている自治体もある。

(意見) 民間の組織にはNPOも含まれているので「民民」という言葉を使うことが多い。民間でどうにかしてくれと言われたとき、個人では対応できないので組織として書いている。「新しい公共」として、今後、伸ばしたいところである。

(意見) 協働の領域の「A1～C」の表記は見にくいので整理してほしい。

(意見) 15 ページの「人口減少社会の到来」については、人口減少は社会減少ではあるが、本プランでここまで書く必要があるだろうか。

(事務局) 情報は最新のものを入れるつもりだが、本プランでどこまで入れるか検討を要する。

(意見) 40 年後はまだ先の話だが、今から 20 年後の話は身近なものとして捉えていいのではないか。2040 年には、人口が 1 億人を切るということが言われている。

(事務局) 宗像としてではなく、日本としての動きがどうであるか、そこには触れたいと思う。

第3章

(意見) 生涯学習と社会教育について、最初に図式化したら分かりやすいだろう。

学校教育は幼稚園から大学までの教育、それ以外が社会教育と言われているが、最近では、生涯学習と社会教育が重なるところがある。それについて図式化すると良いだろう。その後に、生涯学習と社会教育の目的、その根拠法令を説明し、最後に、若者へのメッセージを書くと理解しやすいだろう。

(意見) 26 ページの相談窓口に問合先を書くと分かりやすいだろう。

(意見) 19 ページの活動拠点のメイトム宗像について、より詳しく記載してほしい。

また、17～18 ページを1 ページにまとめてほしい。

また、市民参加の中に市民参画を入れていることが多い。参加と参画については指宿市のプランの表現を参考にしてほしい。

(意見) 市民参加と参画と協働について、「市民参加とは何か」、「市民参画とは何か」、「協働とは何か」という流れの方が理解しやすいと思う。

(意見) 市民参加をきっかけに、市民参画のレベルまで到達してほしい。レベルの違いなので説明は簡単でいいだろう。そして、市民参加と参画の先に協働があるということを詳しく書いてはどうか。

第4章

(事務局) 次回までにターゲットを絞った推進目標も入れたい。

また、情報発信に関して、最近は「ロコミ」の力も大きいと思うので、表現を工夫したい。

(意見) 市民参画や協働について、当市は早くから取り組んでおり、市民参画条例ができた時は、市職員の意識もあったが、最近は時間が経ち社会も変わり、職員のなかで意識が薄れている気がする。協働して市民の力を活かした方が、新しいものが生まれてまちづくりが充実するということを書いてほしい。プラス思考になれるプランになると良い。

(意見) 若い人にとってボランティアは、やりたいけど敷居が高いイメージがある。

(意見) 今、ボランティアという言葉を使わずに「プロジェクト」という言葉を使うことが多い。学生の関心を惹きつけるネーミングを打ち出して、「学生ボランティア募集」と書く。学生にとって「力がつく」、「社会性が身につく」というようなメリットがあると参加する傾向がある。

タイトル

(事務局) 本日確認したプランの内容を踏まえて、こういうタイトルがいいのでは、というご意見をいただきたい。

(意見) 「豊かな地域づくり」と言うと、良いものと分かるが、ぼんやりしている。プランの中を見ると「魅力的な」という言葉も使われている。言葉をはっきり整理した方が良い。

(意見) 目次の「豊かに」という表現は「住みよい」をイメージした。また、「はじめに」の「魅力ある」という表現は「住みたい、住み続けたい」をイメージした。6 ページの市民参加と協働からの将来像の部分は、総合計画の将来像ではなく、「住み続けたいまち」という表現にしてはどうか。

(意見) 「住み続けたい」は、外の人が入れないイメージ、「住みたい」は外の人もあるイメージがある。

(意見) PR の観点から行くと、本プランは、対象を「次世代」とするのは難しい。本プランは手引きのようなもので、何かあった時に手にするものなので、対象を「次世代」とする場合、本プランをもとに、「カード」を製作したり

「ワークショップ」を行うなど、伝え方、伝わり方を意識した、役割を変えた媒体を別途製作した方がいい。

(意見) 本プランのイラスト入りの概要版があると分かりやすい。

(意見) 若い人の目に止まるように、小さいパンフレットにしたり、それを Web 発信してはどうか。

(意見) 文字より写真や絵、写真や絵より動画が伝わりやすい。そこを意識したら良いのではないか。また、タイトルが固い場合、サブタイトルは柔らかい表現を。デザイン自体に力を入れるのが今のトレンドであるのでぜひ工夫してほしい。

おわりに

(事務局) 審議会メンバーからメッセージをいただきたい。次回部会でご意見いただきたい。

4. その他

(事務局) 次回、専門部会を 10 月下旬から 11 月上旬に開催したい。改めて日程調整する。今回いただいたご意見を踏まえて内容を整理したい。

＝ 散 会 ＝